

## 「事故の記憶を風化させてはならない」

建設業においては毎年数多くの事故が発生しております。特に全産業の死亡災害の件数に占める建設業の割合は非常に高く、約3割となっています。

技術や安全管理が高度化しても、常に現場には危険があり、残念なことに繰り返し同種の事故が起きているのが現実です。

事故には直接の原因と背後要因がありますが、その背後要因の大きなもののひとつは事故の記憶が風化していくことがあげられます。

直近で起きた事故については反省し、その痛みを思い出し、ルール遵守や対策をしばらくは履行しますが、時間が経つにつれて次第に緩んでいくのが実情ではないでしょうか。また、時の経過とともに働く仲間を入れ替わっていきます。新たに入社する人がいれば、定年等で去る人もいます。そうするとさらに事故の記憶は薄れ、組織としての安全に対する意識の低下が起こります。過去に起こした事故と同種の事故を起こしかねない状況となるのです。

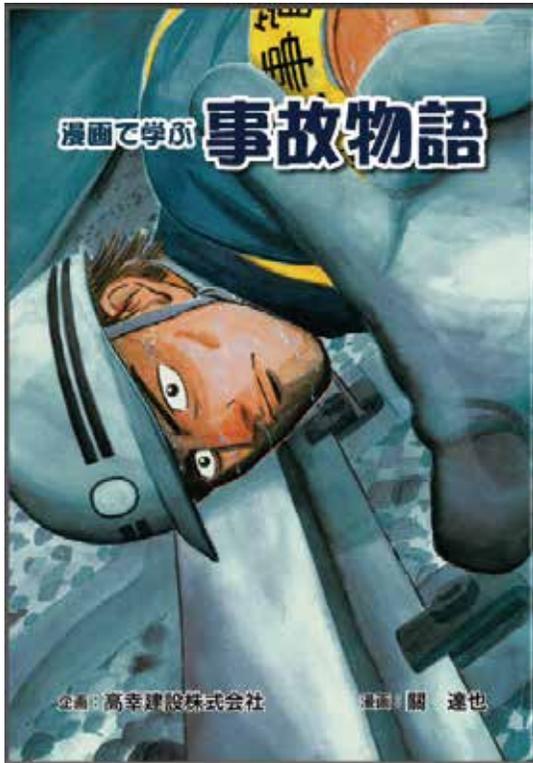
そうならないためには、事故の記憶を風化させてはなりません。

これらの目的のために、本書は作成されました。弊社の今野安全コンサルタントにシナリオを書いてもらい、漫画家の関達也さんに作画をお願いしました。お二人の努力のおかげで、非常にわかりやすいものができたと思っております。

今後、この本を高幸建設の土木工事における必読資料とし、事故の記憶の風化を防ぎ、日々安全に作業することに役立てていきたいと思っております。

この本の発刊には鹿島建設東京土木支店安全環境部、土木部の皆様にご指導とご協力を頂きました。この場をお借りして感謝申し上げます。

平成28年1月  
高幸建設株式会社  
代表取締役 岡川 直



漫画で学ぶ事故物語  
～こちらは軌道編です～



漫画で学ぶ事故物語  
～土木編～

好評発売中です!!

企画：高幸建設株式会社 漫画：関 達也